

2022年度 事業報告書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

[I] 法人の概要

当協会は、2012年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。

この事業報告は、公益社団法人として第10期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	2012年6月4日
社団法人	1991年4月26日
協会設立	1990年7月1日

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

(1) 会員数

正会員数 計38会員 [36都道府県、日本学連、日本デフ協会]

(2) 指導員・競技者登録・イベントアドバイザー登録数

ディレクタ1級指導員数	26名 (2021年度70名)
ディレクタ2級指導員数	30名 (2021年度120名)
インストラクタ指導員数	121名 (2021年度80名)
イベントディレクタ指導員数	90名
JSPOコーチ2指導員数	15名
JSPOコーチ1指導員数	19名
ナビゲーション・インストラクタ	64名
競技者登録数	2254名
IOFイベントアドバイザー	12名
イベントアドバイザー登録数	41名

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(2022年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	小山由男
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	石井邦一
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	高橋利之
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	笛木勉
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	奥居欄朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	橋本八州馬
静岡県オリエンテーリング協会	坂本太郎
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	小坂平和
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	市橋国之
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一

→2023/5/14交代、小八重善裕

岡山県オリエンテーリング協会	千田博通
広島県オリエンテーリング協会	伊東博司
山口県オリエンテーリング協会	渡邊正次
徳島県オリエンテーリング協会	林 和志
香川県オリエンテーリング協会	松井繁成
愛媛県オリエンテーリング協会	河野忠康
福岡県オリエンテーリング協会	渡辺智博
宮崎県オリエンテーリング協会	小八重善裕
日本学生オリエンテーリング連盟	河合利幸
日本デフオリエンテーリング協会	野中好夫

加盟していない県
青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(2022年度末現在) (理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/会長(学識経験者)	堀井 学
代表理事/副会長(学識経験者)	愛場 庸雅
代表理事/副会長(学識経験者)	前田 真理子(大里真理子)
業務執行理事(学識経験者)	鹿島田 浩二 [競技力担当]
業務執行理事(東海B)	新帯 亮 [総務担当]
業務執行理事(学識経験者)	村越 真 [普及、技術担当]
業務執行理事(首都圏B)	奥田 健史
理事(北海道・東北B)	廣田 雅幸
理事(北関東B)	佐藤 大樹
理事(首都圏B)	宮川早穂(糸 早穂)
理事(北信越B)	小林 力
理事(近畿B)	楠見 耕介
理事(中国・四国・九州B)	吉村 年史
理事(学識経験者)	茅野 耕治
理事(学識経験者)	加納 尚子
理事(学識経験者)	山本 陽子(間瀬 陽子)
理事(学識経験者)	高島 和宏
理事(学識経験者)	瀬川 出
理事(学識経験者)	谷野 文史
理事(日本学連選出)	浴本 悠貴
監事	齋藤 和助 (税理士)
監事	尾上 秀雄
監事	中川 義宏 (弁護士)
名誉会長	山西 哲郎

7. 事務局に関する事項(2022年度末現在)

臨時職員	8名	小野賢二	高村 卓	清水由布子	信原 靖	上松典子
		杉本光正	利光恵美	山本賀彦		

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 2022年6月18日(土)

会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室で対面による形式で開催した。
(傍聴、意見交換はオンラインを併用)

議題 審議事項

第1号議案 2021年度事業報告書案及び財務諸表案について

質疑応答後、賛成37名(出席者9、議決権行使 15、委任状(議長委任)13)、反対0名で承認された。

第2号議案 定款の一部に改訂について

旧)「社員総会の議長は会長とする」

↓

新)「総会の議長は会長とする。2.会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは副会長が総会の議長となる」

質疑応答後、賛成37名(出席者9、議決権行使 15、委任状(議長委任)13)、反対0名で承認された。

第3号議案 理事の承認について

日本学連幹事長交代にともないJOA理事も下記の通り変更したい旨の説明がなされた。

(旧)若月俊宏(東京工業大学)→(新)浴本悠貴(神戸大学)

質疑応答後、賛成37名(出席者9、議決権行使 15、委任状(議長委任)13)、反対0名で承認された。

(2)理事会 [各理事会の詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

第34回理事会

日時 2022年6月5日(日) 13:00-17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案 2021年度事業報告書案、2021年度決算書案および監査報告の承認

審議・全会一致で承認

第2号議案 定款第17条(総会議長)の改訂を総会議案上程の承認

審議・全会一致で承認

第3号議案 日本デフオリエンテーリング協会入会の承認

審議・全会一致で承認

第4号議案 スキーO 紹介DVDの翻訳業務発注業者の承認

審議・全会一致で承認

第5号議案 2022年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認

審議・全会一致で承認

第6号議案 JSC助成金の配分に関するガイドラインの制定の承認

審議・全会一致で承認

第7号議案 2022年度委員会委員の承認

審議・全会一致で承認

第8号議案 日本学連代表理事交代の承認

審議・全会一致で承認

第9号議案 資格認定(NI)委員会廃止の承認

審議・全会一致で承認

第35回理事会

日時 2022年8月27日(土) 13:00 - 17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案 令和4年度JSC海外派遣事業助成金の配分額の承認

審議・全会一致で承認

第2号議案 利益相反ポリシーの制定

審議・全会一致で承認

第3号議案 日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準改定の承認

審議・全会一致で承認

第4号議案 NI関連規程類改定の承認

審議・全会一致で承認

第5号議案 2022年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認

審議・全会一致で承認

第6号議案 日本ランキング規則改定およびそれに伴うエリート出場資格規則改定の承認

審議・全会一致で承認

第36回理事会

日時 2022年12月3日(土) 13:00 - 17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案 日本代表選手団における危機管理体制の構築承認

審議・全会一致で承認

第2号議案 「表彰規定」改訂の承認

審議・全会一致で承認

第3号議案 「認定指導者規程」改定の承認

審議・全会一致で承認

第4号議案 「アスリート委員会規程」改定の承認

審議・全会一致で承認

第5号議案 2022 全日本大会運営謝金の理事への支払い承認

審議・全会一致で承認

第6号議案 「日本ランキング規則(第5版)」改定の承認

審議・全会一致で承認

第7号議案 強化委員会委員追加の承認

審議・全会一致で承認

第37回理事会

日時 2023年2月23日(祝木) 13:00 - 17:00

会場 Zoomによるオンライン会議

議題

審議事項

第1号議案 「理事会運営規則」改訂の承認

審議・全会一致で承認

第2号議案 長期事業方針、中期事業計画の承認

審議・全会一致で承認

第3号議案 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン廃止の承認

審議・全会一致で承認

第4号議案 日本ランキング規則(第6版)改定の承認

審議・全会一致で承認

第5号議案 2023年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注先の承認

審議・全会一致で承認

第6号議案 全日本大会エリートクラス出場規則改正の承認

調整・準備不足の為取り下げ

第7号議案 令和5(2023)年度予算の承認

審議・全会一致で承認

第8号議案 令和5(2023)年令和5(2023)年度事業計画書(案)の承認

審議・全会一致で承認

(3)業務執行理事連絡会 (主たる協議事項)

第1回 2022年5月23日(月) 20:00～ リモート(Zoom)開催

2021年度事業報告、決算内容の確認

第2回 2022年8月11日(木) 20:00～ リモート(Zoom)開催

JSC助成金(海外派遣)の配分について

第3回 2022年11月17日(木) 20:00～ リモート(Zoom)開催

日本代表選手団における危機管理体制の構築について

第4回 2023年2月6日(月) 20:00～ リモート(Zoom)開催

長期事業方針、中期事業計画について

来年度事業計画について

9. Official Partner

株式会社ニチレイ、株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、サルミングジャパン、株式会社デサントジャパン

[II] 2022年度の事業

【公益目的事業1】 普及指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクタ・インストラクタの認定・登録を行った。
- ・ディレクタ1級、2級講習会は実施されなかった。
- ・インストラクタ養成講習会は、徳島、岐阜、栃木でそれぞれ各1回開催された。
- ・イベントディレクタ認定試験を3回開催した(2022/9月、12月、2023/3月)。
- ・イベントアドバイザー養成講習会(兼移行研修会)を2022/9/10、11滋賀県と2023/1/7、8千葉県で開催した。
- ・ナビゲーションスキル検定「ゴールド講習」を2回開催した。
- ・ナビゲーションスキル検定「シルバー講習」を4回開催した。
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度への移行講習会が開催された。
2022年8月20日オンライン講習の後、8月27日にコーチ2養成講習会を開催した(国立オリンピック記念青少年センター)。
2022年9月10日オンライン講習の後、9月18・19日にコーチ1養成講習会を開催した(朝霧野外活動センター)。
2023年1月8日にコーチ1移行講習会を開催した(エル大阪)。

2. 常設コース

- ・2023年2月、富岡町総合スポーツセンター(福島県)でパーマナントコース登録を行った(震災で閉鎖後リニューアル再開)。
- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。
- ・ネットプリント 現在68コースが稼働中。
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

3. 距離認定

- ・100キロコンベ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数514件]

4. 普及及び受託事業

- ・加盟していない県組織に対しての加盟への働きかけは出来なかった。
- ・民間企業等からの受託事業推進活動は出来なかった。
- ・野外活動施設、民間企業への普及活動は出来なかった。
- ・ワールドオリエンテーリングディの実施を推進したが、学校教育への新たな導入への方策については対応できなかった。
- ・執行理事による高校登山部への連携を強化し若い年代のナビゲーション活動の活性化を図った。
- ・大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供は出来なかった。
- ・OMM(オリジナルマウンテンマラソン)等の競技主管を受託した。
- ・マウンテンオリエンテーリングの主催大会を大阪で開催した。(MMO)

5. 広報

- ・指導者、競技者、寄付・協賛者等に対しての情報提供として、JOAニュースを2回発行した。
- ・ホームページを維持管理し、情報発信を行った。
- ・理事会・事務局便りを32号から37号まで発信した。
- ・Facebook、Twitterにて情報発信を行った。
- ・プレスリリースを随時実施した。

6. 地域活性化委員会

- ・会員から申請のあった会員支援金申請に対する審査及び回答書を作成し17会員に助成した。
- ・昨年度に引き続き、九州地区での体験会開催などを計画していたが新型コロナの影響もあり、今年度の開催を断念。
- ・九州地区でのパーマナントコースの調査、野外施設のOL状況調査を行った。
- ・HPやネットによる連携強化を行い、来年度の全日本リレー(佐賀)を契機とし活性化するプランを立案中。
- ・地域活性化討論会の開催
これまで集めてきた各地の事情やご意見、九州で行ってきた活動をベースにJOA中長期計画への提言書としてまとめた。
同時に、2023年3月18日にZOOMによる討論会を開催し、幅広く意見を募った。

【公益目的事業2】 競技会の開催及び公認に関する事業

1. 全日本大会を主催した。

		総計3,818名の参加を得た。	
2022年6月4日	第14回全日本スプリントO大会	新潟県新潟市	273名
6月12日	第30回全日本リレーO大会	岐阜県中津川市	432名
10月8日	第11回全日本ミドルO大会	山梨県鳴沢村	958名
10月9日	第49回全日本大会 [WRE対象大会]	山梨県鳴沢村	923名
2023年2月4日	第15回全日本スプリントO大会	栃木県真岡市	441名
2月5日	第31回全日本リレーO大会	栃木県矢板市	552名
3月4日	全日本スキーオリエンテーリング大会 スプリント	北海道留寿都村	49名
3月4日	全日本スキーオリエンテーリング大会 ミドルディスタンス	北海道留寿都村	49名
3月5日	全日本スキーオリエンテーリング大会 パシュート	北海道留寿都村	33名
3月5日	全日本スキーオリエンテーリング大会 スプリントリレー	北海道留寿都村	108名(延べ人数)

2. 会員より大会の申請を受け公認した。

[フットO]

2022年4月24日 三河OLC45周年記念大会【カテゴリF】
2022年10月30日 富岡スプリント大会【カテゴリS】

愛知県
福島県

309名
66名

3. 国際大会の開催

- ・国際大会としての国内での開催はなかった。
- ・WRE対象大会として以下の大会を実施した。
三河OLC45周年記念大会、第49回全日本ロングオリエンテーリング大会

4. その他の競技会を主催・共催した。

- ・ナビゲーション・ゲームズシリーズ2022(16会場で開催) 賛同する団体と共催 延1,939名

5. 賠償責任保険及び傷害保険

- ・AIG損害保険、あいおいニッセイ同和損害保険と引き続き加入した。
- ・JOA主催大会及び、申請を受けた公認大会等への傷害保険を適用した。(8件の申請を受けた)

6. 規程・規則等

定款一部改訂(2022.6.18)
理事会運営規則一部改訂(2023.2.23)
表彰規定一部改訂(2022.12.3)
アスリート委員会規定一部改訂(2022.12.3)
利益相反ポリシー制定(2022.8.27)
全日本大会エリート出場資格規則(2022.8.27)
日本ランキング規則(2023.2.23)
日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準改定(2022.8.27)
認定指導者規定一部改訂(2022.12.3)
ナビゲーション・インストラクタ規定、内規一部改訂(2022.8.27)
ナビゲーションスキル検定規定、内規、細則一部改訂(2022.8.27)

7. アンチ・ドーピング

- ・ドーピング検査 日本アンチ・ドーピング機構が実施したドーピング検査に協力した。
- ・JOAオンライン講習会としてアンチ・ドーピング研修会を実施した
6月15日 20:00-21:00 タイトル:「アンチ・ドーピング講習会 ～日頃、気をつけること～」講師:落合公也
9月10日、1月10日、JOAイベントアドバイザー講習会 講師:落合公也
- ・日本アンチ・ドーピング機構の協力を仰ぎ教育啓発活動をおこなった
(1)アウトリーチプログラム
開催日:5月20日、21日
場所:愛知県北設楽郡設楽町、奥三河2days
(2)アウトリーチプログラム
開催日:10月9日、10日
場所:山梨県南都留郡鳴沢村、全日本大会
- ・啓発広告の掲載
全日本大会、インカレ
- ・選手への助言
選手からの問い合わせに対して薬の服用について助言をした。
- ・日本スポーツフェアネス機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に協力した

8. 競技者登録

- ・2022年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対103%)
[男性1,676名、女性582名、計2,258名(内、学生 1237名、U18/ 238名、U15/ 144名)]

【公益目的事業3】 競技力向上事業

1. 選手・役員の派遣

- ・フットオリエンテーリング
WOC[2022年6月26日～30日 デンマーク]へ選手・役員を派遣した。
JWOC[2022年7月11日～16日、11月3日～6日 ポルトガル]へ選手・役員を派遣した。
WCup[2022年5月25日～29日 スウェーデン][8月3日～7日 エストニア][2022年10月1日～3日 スイス]へ選手を派遣した。
WUOC[2022年8月16日～21日 スイス]へ選手・役員を派遣した。
- ・スキーオリエンテーリング
WSOCは隔年開催の為派遣なし。

JWSOC[2023年1月30日～2月6日 ラトビア]へ選手2名を派遣した。

ワールドカップ3大会、オーストリア:男子2名女子1名、ラトビア:男子2名女子1名、ノルウェー男子5名女子1名を派遣した。

・マウンテンバイクオリエンテーリング

World MTB Orienteering Championships 2022 & CX80 World Cup in MTB Orienteering (2022/7/15～7/20スウェーデン王国 Falun)

Junior World MTB Orienteering Championships 2022 (2022/7/15～7/20スウェーデン王国 Falun)

World Masters MTB Orienteering Championships 2022 (2022/9/14～9/18ブルガリア共和国 Targovishte)

CX80 MTB Orienteering World Cup & U23 World MTB Orienteering Championships 2022 (2022/9/14～9/18ブルガリア共和国 Targovishte)
上記大会へ選手を派遣した。

・トレイルオリエンテーリング

2022世界トレイルオリエンテーリング選手権大会 (2022/7/14～7/25ポーランド共和国イェレニャ・グラ)に選手を派遣した。

2. 強化委員会

・選考会、JOA合宿等の開催

4月3日(日) WOCスプリント選考会 新潟県

4月9日(土) JOA練習会 静岡県

4月23日(土) JWOC、WUOC選考会 静岡県

4月29日(祝・金)～5月1日(日) JOA合宿 栃木県

5月3日(祝・火)～5日(祝・木) JWOC選手対象合宿 山梨県

5月29日(日) JWOC選手対象練習会 山梨県

6月5日(日) JWOC選手対象練習会 新潟県

7月23日(土)～24日(日) JOA合宿 山梨県

8月24日(水)～28日(日) IOF Training Camp スウェーデン

9月25日(日) JOA練習会 長野県

10月21日(金) 日本代表チーム世界選手権等報告会 (Zoomによるweb開催。フットO以外も同時開催)

12月24日(土)～25日(日) 日本学連合宿 栃木県

12月28日(水)～30日(金) ジュニア向け合宿 静岡県

3. スキーO委員会

・強化活動

強化選手の指定

A強化 男子1名、B強化 男子7名女子2名、U20指定 男子2名女子1名の指定を行った。

強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期)

合計6回の強化合宿を行った。

フット強化合宿への参加支援

未実施

・代表用具の整備

日本代表ウェアの新規購入を行った

競技用具の整備:ワックスの整備を行った

・代表選手教育(マナー、ドーピング、インテグリティ、代表選手規範の教育)

ドーピング/インテグリティについて選手教育を行った。

・大会の開催

JOA主催大会の他、ローカル大会開催の支援を行った。

山形県飯豊町、山形県真室川町、石川県小松市、兵庫県養父市、志賀高原、安比高原、北海道旭岳

・強化候補選手の発掘

ジュニア選手の発掘:旭岳ジュニア講習会/安比高原ジュニア講習会によりジュニア選手の発掘を行った。

初心者講習会の開催:栃木県(奥日光)、山形県(真室川町)、長野県(志賀高原)にて初心者講習会を開催した。

・スノーシューオリエンテーリング大会の開催を通じたスノースポーツの普及貢献

パウダースノーシューランの大会を開催した。

・広報活動:クロスカントリースキーヤーに対する広報活動(大学スキー部、愛好者、高校生)を行った。

・競技基盤の整備:競技規則の整備、周知活動。指導者講習会の開催。

・委員会組織体制の強化:サクセッションプランの策定と委員候補者育成

・2026年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の日本開催招致活動を進めた。

4. MTB-O委員会

・広報活動として国内多数の大会でパンフレットを配布、6/18社行会および10/21日本代表チーム世界選手権報告会で報告を行った。

・ローラーチャレンジ等、MTBO体験会開催。コロナ渦で止まっていたローラーチャレンジを3月のインカレで再開した。

・SNS等を活用した各人や委員会広報を行った。

・語学力向上の為、Duolingoを継続実施。

・NaviTaviの国際的プロモーション活動を継続的に実施

・ISMTBOM 2022, ISSprOM2019-2(2021年版)への改訂貢献

5. トレイルO委員会

- ・第16回全日本トレイルO選手権大会は新型コロナウイルスの影響により見送った。
- ・公認大会の申請はなかった。
- ・障害者への普及活動の促進のため、トレイルO協会と協同で働きかけを継続しているが奏効しなかった。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂を進めている。ガイドラインについては未実施。
- ・大会、普及活動とも、新型コロナウイルスの影響で活動ができなかった。

6. 競技委員会

- ・委員会をメール及びリモートにより、情報共有・意見交換を随時且つ頻繁に実施。
- ・競技規則の改訂 [規程の項目に掲載]
- ・イベントアドバイザー研修会の実施 [指導者養成・資格認定等に掲載]
- ・公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。

7. 女性委員会

- ・WOC2022女子選手交流イベント&パークO(大阪府)を開催した。
- ・女性向け練習会を静岡県「丸火西」で開催した。

8. 国際委員会

- ・IOFの専門委員会に委員を派遣し、IOFの活動に協力するとともに、日本の競技力向上に資することができた。
- ・IOF Global Development委員会では落合委員が活動した。
- ・2024年アジア選手権の候補地であるタイへ村越理事と落合委員が赴き、現地を視察し、IOFのFootO Commissionに開催可能性を報告した。
- ・JOCを通じて他のNFとの交流を図った。
- ・JOCの国際人養成アカデミーで落合委員がティーチング・アシスタントを務めた。
- ・諸外国との交流を進めた。特にアジア地区におけるオリエンテーリングの普及発展にIOFと連携して取り組んだ。

9. 普及・指導委員会

- ・指導員講習会を開催した(指導者養成、資格認定・登録の項に記載)

10. アスリート委員会

- ・選手あるいは他委員会等からの意見、照会に対して、選手目線での意見を伝え、関連委員会に働きかけることで、アスリート委員会の理念とミッションに基づく活動を実施した。

11. 総務委員会

- ・寄付金リーフレット準備、SNS発信で寄付金募集を行った。
- ・プレスリリース対応を行った。
- ・ナビゲーションゲームズ2022対応を行った。(競技会の開催及び公認に関する事業、4に記載)

10. 全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・2022年10月8、9日の2日間で全日本ミドル、ロング大会を開催した。延べ参加人数1881名。
- ・日本ランキング(フォレスト)の運用を実施し、スプリント委員会と連携して日本ランキング(スプリント)の運用開始に協力を行った。
- ・日本ランキング規則について規則制定・改定を実施した。全日本大会エリートクラス出場資格規則について、競技委員会と連携して規則改定を行った
- ・次年度以降の全日本大会(ミドル・ロング)開催計画を策定した。

11. スプリント委員会

- ・2023年2月4日、2022年度全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を開催した。
- ・全日本委員会の協力を得、日本ランキング(スプリント)の運用を開始した。
- ・2023年度の全日本スプリント大会について、現在会場に対して渉外を実施中。

12. 地図委員会

- ・地図図式等の整備
- ・最新の地図調査技術、図式規定解説、初心者向け地図製作講座などをまとめたオンラインセミナーを開催した。

13. ジュニア委員会

- ・JWOC2022に向け、強化合宿を行った。
- ・2023年度に向け、U-20、U-18強化選手、各6名、4名を指定した。

14. 日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動助成	交付決定額	計
①世界トレイルO世界選手権大会派遣	143,000	
②スキーOジュニア世界選手権選手派遣	191,000	
③フットOジュニア世界選手権大会派遣	431,000	
③MTB-O世界選手権、ジュニア世界選手権、ワールドカップ、マスターズ派遣	900,000	
④フットO世界選手権大会(スプリント)派遣	335,000	2,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
①2022年度全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ロング)	2,000,000	
②第31回全日本レーオリエンテーリング大会	1,200,000	3,200,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①スキーオリエンテーリング講習会	1,920,000	
②スキーオリエンテーリング指導者養成講座	2,295,000	
③スキーオリエンテーリング競技動画多言語版作成	640,000	
⑤ドーピング検査事業	639,000	5,494,000
	合計	10,694,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・2022年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額の配分については、事業計画に基づいて行う。

【その他】

1. 法人部門

2021年に続き、「コロナ禍」収束の兆しが見えないことから、事務局のテレワークを継続実施した。

2. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOF理事候補として杉山隆司氏を推薦した(今回は落選。次への布石とする)。
- ・アジアワーキンググループミーティングをアジアオリエンテーリング連盟(AOF)に改組する取り組みを主導で開始した。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)に加盟した。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き承認団体として加盟し、準加盟団体申請を行った。
- ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)に引き続き加盟した。
- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)に引き続き加盟した。

3. 寄附金募集事業活動

寄附金維持等

「税額控除に係わる申請」更新を行い認定された。[認可日:府益担第1363号/令和4年11月17日]

[有効期間:令和4年11月20日ー令和9年11月19日]

・2022年度(2022/4月-2023/3月) 寄附金総額 6,988,670円となった。

①オフィシャルスポンサー寄附金総額 1,040,000円

株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ

②一般寄附者一覧(敬称略、順不同) 寄附金総額 4,431,170円(ポスタル寄付を含む)

滋賀県オリエンテーリング協会、特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会

NPO法人M-nop、株式会社アークコミュニケーションズ、香川県オリエンテーリング協会

愛場庸雅 浦瀬香子 日向 繁 寺垣内航 前川一彦 齋藤宏顕

中村 憲 浦瀬太郎 高橋明美 鹿島田浩二 村越 真 田中健太郎

伊藤好信 岡野英雄 高津寿三鈴 小幡昭次 大塚校市 田濃邦彦

伊藤伸悟 尾上秀雄 高野由紀 小林岳人 大塚ふみ子 土屋晴彦

井土 宙 加藤高男 佐藤政明 上島通浩 大里真理子 内海 洋

稲森 剛 久保喜正 佐野弘明 上島乃英 池田麻子 (他匿名4名)

(新宿区わがまち応援支援金含む)

③会員支援金

全日本、公認大会等にて、会員支援総額 1,517,500円となった。

4. 表彰に関する事項

2022年度において表彰はなかった。

5. 会員との交流

- ・対話集会を開催した。
2022年6月18日 定期総会会場でオンラインも交え開催した。

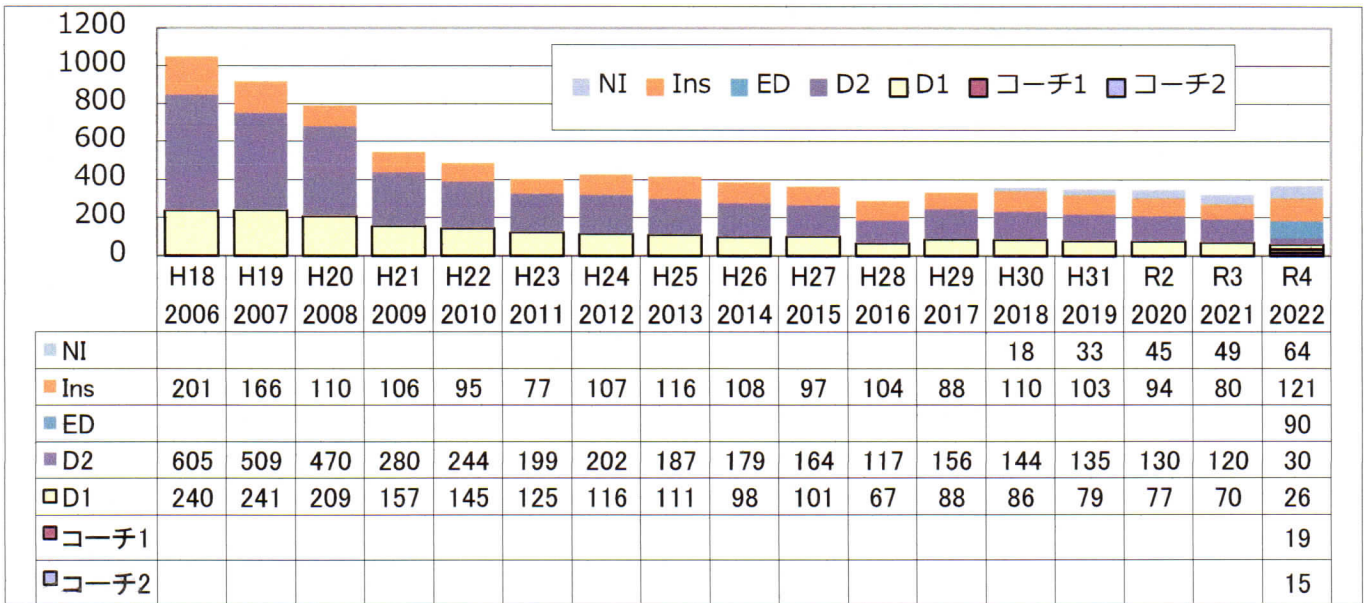
6. オンライン講習会

- ・危機管理・コンプライアンス委員会 関係
 - 11月4日 【競技者向け】「安全で楽しい大会参加のために:リスクマネジメント講座」
 - 11月5日 【運営者向け】「安全で楽しい大会運営のために:リスクマネジメント講座」
 - 11月16日 「令和4年度 JOAコンプライアンス研修会」
- ・普及・教育関係
 - 2月15日、3月15日 「コーチングとその魅力」「コーチングとその魅力:実践編」
 - 2月22日 「もう無自覚ではいられない! ? オリエンテーリングの環境への影響」
- ・競技力向上関係
 - 6月25日 「WOC2022開会直前企画 -世界選手権を観よう! -」
 - 8月10日 「OMMを楽しく安全に走るには」
 - 8月21日 「O-MAPフォーラム~地図を作ろう! ~」「O-MAPフォーラム~地図を作ろう! ~」
 - 10月12日 「全日本リフレクション(振り返り)」
 - 11月18日 「OMM振り返り」
 - 2月8日、3月1日 「全日本スプリント リフレクション(振り返り)」 「全日本スプリント2022 ティーチンセミナー」

附則 大会名	略称に関する注釈	関係機関ほか
WOC	世界選手権 (フット0)	IOF 国際オリエンテーリング連盟
JWOC	ジュニア世界選手権 (フット0)	JOC 日本オリンピック委員会
WCup	ワールドカップ (フット0)	JISS 日本スポーツ振興センター
WMOC	マスターズ世界選手権 (フット0)	JADA 日本アンチ・ドーピング機構
AsOC	アジア選手権 (フット)	J-Fairness 日本スポーツフェアネス推進機構
AsJYOC	アジアジュニアユース選手権(フット)	UNIVAS 大学スポーツ協会
AsTOC	トレイルOアジア選手権	WRE ワールドランキングイベント
WMG	ワールドマスターゲームズ	
WTOC	トレイル0世界選手権	
WMTBOC	マウンテンバイク0世界選手権	
WSOC	スキー0世界選手権	
JWSOC	ジュニアスキー0世界選手権	
EYOC	ヨーロッパユーススキー0選手権	
WUOC	世界学生O選手権	
WUSOC	世界学生SKI-0選手権	

年度別指導者登録者数

西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
コーチ2																	15
コーチ1																	19
D1	240	241	209	157	145	125	116	111	98	101	67	88	86	79	77	70	26
D2	605	509	470	280	244	199	202	187	179	164	117	156	144	135	130	120	30
ED																	90
Ins	201	166	110	106	95	77	107	116	108	97	104	88	110	103	94	80	121
NI													18	33	45	49	64
合計	1046	916	789	543	484	401	425	414	385	362	288	332	358	350	346	319	365



年度別競技者登録者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
男性	1246	1565	1556	1589	1667	1733	1719	1391	1623	1674
女性	337	563	535	565	573	579	587	454	560	580
内、学生	711	1239	1245	1290	1345	1392	1358	975	1175	1231
内、U18	93	90	75	148	119	225	105	93	94	94
内、U15	126	83	100	97	121	117	119	135	171	144
総計	1583	2128	2091	2154	2250	2312	2306	1845	2183	2254

